

大学の世界展開力強化事業 構想概要 慶應義塾大学

【構想の名称】(タイプB-Ⅱ) グローバルエンジニア育成のための欧州理工系大学との連携プログラムの構築

【構想の概要】

EU圏の理工系高等教育機関との連携により、グローバルな視野を持ち世界共通の問題解決へ向けて活動のできるエンジニアを育成する。修士課程におけるダブルディグリープログラムの展開、博士課程学生の共同指導を通じた国際的協同事業の展開、学部学生等に対する導入プログラムの提供ならびに予備課程の整備等を通じて、キャンパスにグローバルな感覚を醸成するような環境を整備することを目標とする。

■ プログラムの目的・養成する人材像

○ グローバルな感覚を持つエンジニアの育成

大学として理工系高等教育における国際的な協同事業へ主体的に参画することで、多彩な教育プログラムを学生に提供し、言語や文化の違いを乗り越えて国際的な人脈を背景に活動できる人材の育成をめざす。

〈大学院授業風景〉



■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

○ 学部生を対象とした導入プログラムの提供ならびに準備課程の整備

留学の準備課程として学部学生に対し短期のサマースクールを複数用意し、欧州で学ぶことを実感する機会を提供する。また、学部1・2年生を対象に少人数体制の「国際人材育成セミナー」を開講し、世界の中での自分の立ち位置を理解させるとともに、外国語教育と国際的な教養科目の充実を図る。

○ 修士課程におけるダブルディグリープログラムの展開

すでに導入されている欧州理工系大学(T.I.M.E. Association加盟大学)とのダブルディグリープログラムの協定校を現在の4校から10校程度まで拡大し、日本人学生に対して留学の選択肢を増やすとともに、協定校から受け入れる留学生の多様性を高め、キャンパス全体の国際色を豊かにする。

○ 博士課程学生の共同指導を通じた国際的協同事業の展開

ダブルディグリープログラム参加学生の修士論文共同指導をきっかけとしてさらに博士課程での共同指導へと接続する。そこから生まれた共同研究のテーマを軸に、両国関係研究者で国際協同研究プロジェクトを立ち上げる。

○ 協定校学生に対する日本留学紹介プログラムの実行

夏季休暇期間に各国協定校の学生向けに特化した本学および日本の紹介を目的とした短期講座を設置する。日本語の学習履歴に応じた日本語指導と低学年学生向けの研究室体験セミナーを実施し、修士課程における進路として本学大学院を紹介する。

〈ダブルディグリープログラム学位授与〉



■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 他大学への発展、相互交流について

本事業の中核をなす大学院修士課程でのダブルディグリー制度は、日本人学生の派遣において既設の修士課程に大幅な変更を加える必要がなく、日本と欧州の大学院教育における特質を相互補完的に利用することができる点で水平展開が容易に可能となる。また、留学生の受け入れにおいては、欧州とのアカデミックカレンダーとの相違を吸収すべく、9月入学・9月修了を可能とする必要があるが、研究活動に主眼がおかれたカリキュラムが組み立てられている限りにおいては、既設のプログラムへの変更は容易にできる。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 日本人学生の派遣のための環境整備

派遣前に先方での学習内容、語学の準備、渡航の手続き等に関して複数回のガイダンスを行うとともに、前年度以前の派遣学生から定期的に送られてくる月例報告書を開示し、多様な情報提供の機会を設ける。

○ 外国人学生の受入れのための環境整備

世界標準的なカレンダーに合わせた9月入学・9月修了を取り入れるとともに種々の学内制度を用意し、留学生専門の学習指導教員をおくなど、日本語能力が科目履修のレベルに達しない留学生でも英語により不自由なく学生生活を送れる体制が整備されている。生活面においてはキャンパスから徒歩圏内に留学生寮、チューター制度等も整備されている。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

修士課程DDプログラムによる派遣、博士課程学生の共同指導による派遣、学部学生を対象とした「グローバル人材に向けての学部教育システム」の一環で春季・夏季の海外研修、インターンシップ、サマースクール等の派遣を実施をする。

○ 外国人留学生の受入れ

DDプログラム、サマースクール、博士課程学生の受け入れ、その他の研究研修プログラム等の実施をする。

| | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生の派遣 | 25 | 45 | 120 | 180 | 200 |
| 学生の受入 | 10 | 30 | 50 | 70 | 100 |